

科目名	精神保健学Ⅱ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	古 賀 靖 之						
開講年次	3	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	ライフサイクルの視点から精神保健福祉に関する専門的知識を習得する。次に、精神保健福祉に関する計画と実施方法や技法を学び理解を深める。また、精神保健福祉活動におけるチームアプローチの重要性と精神保健福祉士として役割について理解を深め、実践方法を習得する。						
授 業 の 到達目標	(1) 我が国における精神保健福祉の現状を理解し、説明できる。 (2) ライフサイクルの視点からの精神保健福祉に関する専門的知識を習得する。 (3) 精神保健福祉における基本的支援方法を習得する。 (4) 精神保健福祉におけるチームアプローチの重要性と精神保健福祉士の役割について理解を深める。 (5) 精神保健福祉実習のための知識、技能、態度の習得を図る。 (6) 世界の精神保健福祉活動の現状について理解を深める。						
学習方法	講義とビデオ学習、および体験学習						
テキスト及び参考書等	「精神保健学 精神保健福祉士養成講座2」精神保健福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎	◎	◎			60
授業態度			○				10
受講者の発表			○				10
授業への参加度			◎				20
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	現代社会における精神保健福祉の現状と課題						
第 2 週	世界における精神保健福祉活動の現状						
第 3 週	精神保健福祉に関する取り組み① 小児虐待と発達障害について						
第 4 週	精神保健福祉に関する取り組み③ 不登校・いじめ自殺について						
第 5 週	精神保健福祉に関する取り組み④ 子どもの荒れ・暴力・非行について						
第 6 週	精神保健福祉に関する取り組み⑤ 引きこもり・ニート対策						
第 7 週	精神保健福祉に関する取り組み⑥ うつ病と自殺防止対策について						
第 8 週	精神保健福祉に関する取り組み⑦ 心身症について						
第 9 週	精神保健福祉に関する取り組み⑧ 統合失調症について						
第 10 週	精神保健福祉に関する取り組み⑨ アルコール・薬物・ギャンブル依存について						
第 11 週	精神保健福祉に関する取り組み⑩ 貧困や犯罪・災害被害者支援について						
第 12 週	精神保健福祉に関する取り組み⑪ 認知症および高齢者対策について						
第 13 週	精神保健福祉に関する取り組み⑫ ターミナルケアと残された者への心のケアについて						
第 14 週	精神保健福祉活動におけるチームアプローチとネットワークづくりについて						
第 15 週	後期授業の総括						
第 16 週							
備 考	授業への出席、自分の意見の確立など、主体的行動を期待する。 事前事後学習については授業ごとに指示を行う。						